

2008年3月期 中間決算概要

2007年10月30日

株式会社プロトコーポレーション

証券コード: 4298

中間連結損益計算書(1)

【連結損益の状況】

(単位：百万円)

	2007年3月期(中間)		2008年3月期(中間)				前期対比		計画対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	実績(C)	売上比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
売上高	10,277	100.0%	11,397	100.0%	11,345	100.0%	1,068	110.4%	△ 52	99.5%
売上原価	4,620	45.0%	5,219	45.8%	5,046	44.5%	425	109.2%	△ 172	96.7%
売上総利益	5,656	55.0%	6,178	54.2%	6,298	55.5%	642	111.4%	120	101.9%
販売費及び一般管理費	4,021	39.1%	4,807	42.2%	4,394	38.7%	373	109.3%	△ 412	91.4%
営業利益	1,635	15.9%	1,370	12.0%	1,904	16.8%	269	116.5%	533	138.9%
経常利益	1,681	16.4%	1,353	11.9%	1,929	17.0%	247	114.7%	575	142.5%
中間純利益	965	9.4%	676	5.9%	938	8.3%	△ 27	97.2%	262	138.8%

※ 上記計画値は、平成19年5月11日付発表の数値であります。

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

平成19年9月18日付発表 中間期業績予想の修正値 … 売上高:11,400百万円、営業利益:1,822百万円、経常利益:1,817百万円、中間純利益:961百万円

【販売費及び一般管理費の状況】

(単位：百万円)

	2007年3月期(中間)		2008年3月期(中間)				前期対比		計画対比	
	実績(A)	売上比	計画(B)	売上比	実績(C)	売上比	(C)-(A)	%	(C)-(B)	%
販売費及び一般管理費	4,021	39.1%	4,807	42.2%	4,394	38.7%	373	109.3%	△ 412	91.4%
人件費	2,057	20.0%	2,334	20.5%	2,172	19.2%	114	105.6%	△ 162	93.1%
広告宣伝費関連	608	5.9%	936	8.2%	798	7.0%	190	131.2%	△ 137	85.3%
その他経費	1,354	13.2%	1,536	13.5%	1,423	12.5%	68	105.1%	△ 113	92.6%
社員数	646	-	724	-	681	-	35	105.4%	△ 43	94.1%
契約社員数	26	-	114	-	159	-	133	611.5%	45	139.5%

※ 上記計画値は、平成19年5月11日付発表の数値であります。

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

※ 広告宣伝費関連には、広告宣伝費ならびに販売促進費の合計値を記載しております。

※ 社員数・契約社員数は、9月末時点での在籍員数であります。

中間連結損益計算書(2)

表1 【各指標の推移】

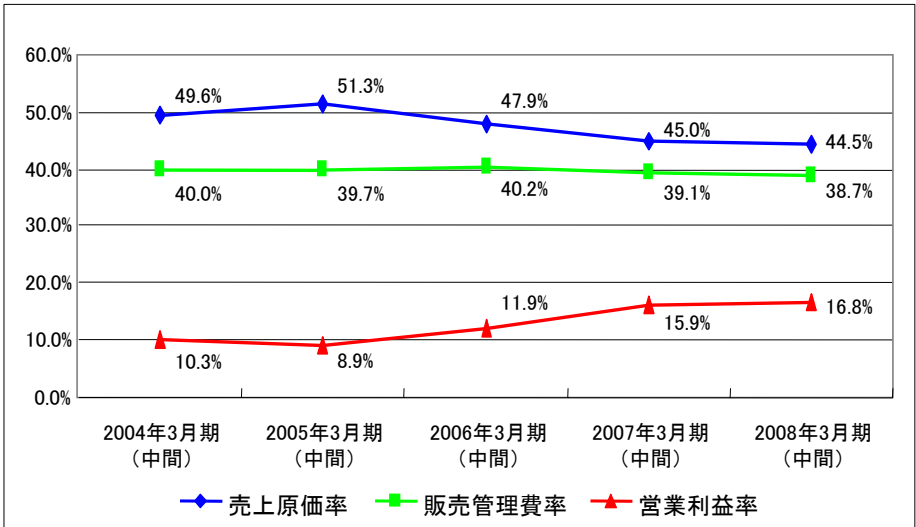
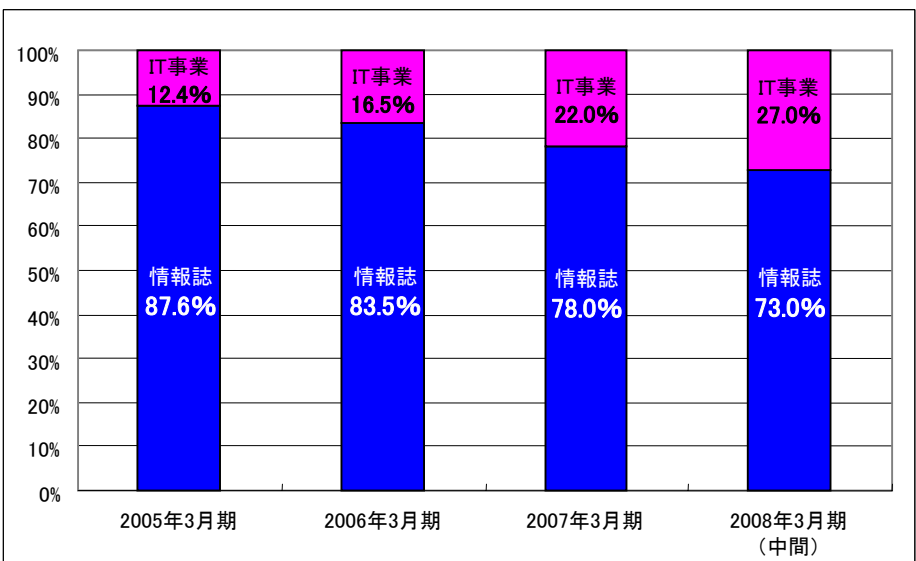


表2 【自動車関連情報 売上構成比の推移】



【2008年3月期 中間期業績概況】

- **売上高 (前期対比 110.4%)**
 全てのセグメントにおいて、前年同期実績を上回る結果となりました。特に自動車関連情報においては、インターネット関連商品の拡販に伴う取引社数の増加等により、前年同期対比 109.0% (885百万円増) と前年同期実績を大きく上回る結果となりました。
- **売上原価 (前期対比 109.2%)**
 情報誌製作工程(印刷前工程)の一部見直し(CTPの採用)による収益改善は前期で一巡したものの、引き続き、収益性の高いインターネット関連商品の売上構成比が高まってきており(表2参照)、売上原価率は前年同期対比 0.5ポイント改善しております。
- **販売費及び一般管理費 (前期対比 109.3%)**
 販売費及び一般管理費の主な増加要因は、プロトコーポレーションの社員数の増加に伴う人件費の増加ならびにインターネットプロモーションの強化に伴う広告宣伝費の増加によるものであります。ただし、いずれも計画値を下回る結果となっております。
- **特別損益の概況**
 主に、関係会社株式(マーズフラッグ株式)売却益の発生等により、プラスとなっております。
 <マーズフラッグ株式の持分変動状況>
 07年3月期 54.9% → 07年9月期 47.0%
- **中間純利益 (前期対比 97.2%)**
 税金等調整前中間純利益は前年同期実績を上回ったものの、法人税等調整額の増加等により、前年同期実績を下回る結果となりました。

※ IT事業: Goo-net等への情報登録料、データ・コンテンツ提供料、パーツEC売上、Goo-net買取オークション落札手数料等

中間連結損益計算書(3)

【セグメント情報】

(単位：百万円)

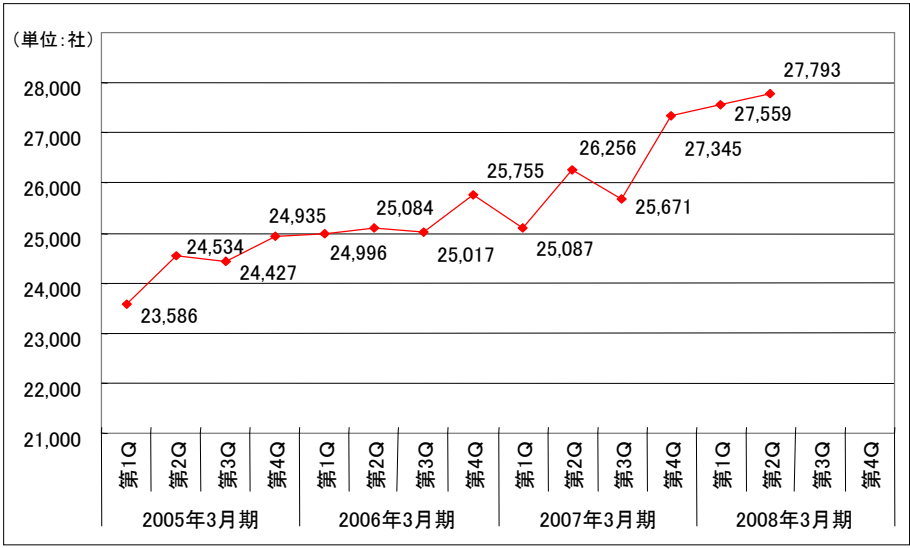
	2007年3月期(中間)			2008年3月期(中間)		
	売上高		営業利益	売上高		営業利益
		構成比			構成比	
自動車関連情報	9,807	95.4%	2,704	10,693	94.3%	2,825
情報登録・掲載料	8,434	82.1%	—	9,109	80.3%	—
情報提供料	1,372	13.4%	—	1,584	14.0%	—
生活関連情報	270	2.6%	△ 36	425	3.8%	△ 19
不動産	79	0.8%	29	88	0.8%	37
その他	119	1.2%	△ 195	138	1.2%	△ 95
管理部門	—	—	△ 867	—	—	△ 844
合計	10,277	100.0%	1,635	11,345	100.0%	1,904

前期対比			
売上高		営業利益	
	%		%
885	109.0%	121	104.5%
674	108.0%	—	—
211	115.4%	—	—
155	157.4%	16	—
8	110.5%	8	128.2%
18	115.7%	100	—
—	—	22	—
1,068	110.4%	269	116.5%

※ 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載料等
 ※ 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供料

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

表3 【Gooシリーズ 延べ取引社数の推移(四半期毎)】



■ 自動車関連情報

増収の主な要因は、インターネット関連商品の拡販に加え、Goo-net買取オークション、GooBikeParts等の新規事業による増収効果によるものであります。なお、Gooシリーズの延べ取引社数は前年同期対比 107.8%(表3参照)、一クライアント当たりの平均取引単価は同 101.5%となっております。

■ 生活関連情報

増収の主な要因は、カルチャー情報事業「Vee SCHOOL.com」が堅調に推移した(取引社数、平均取引単価ともに増加)ことに加え、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」等の新規事業が増収に寄与したことによるものであります。

■ その他

連結子会社マーズフラッグのサイト内検索エンジン「MARS FINDER」の拡販等により、営業損失額が減少いたしました。

参考：四半期連結損益計算書



(単位：百万円)

	05/3期					06/3期					07/3期					08/3期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q
売上高	4,924	4,828	5,010	5,014	19,778	4,896	4,915	5,023	5,117	19,952	5,049	5,227	5,527	5,434	21,238	5,644	5,700
売上原価	2,485	2,523	2,502	2,315	9,826	2,298	2,399	2,455	2,551	9,704	2,193	2,427	2,440	2,519	9,580	2,447	2,598
売上総利益	2,439	2,305	2,508	2,699	9,952	2,598	2,515	2,568	2,565	10,247	2,855	2,800	3,086	2,915	11,658	3,197	3,101
販売費及び一般管理費	1,890	1,985	1,968	2,382	8,227	1,854	2,090	1,948	2,343	8,237	1,959	2,061	2,066	2,582	8,669	2,157	2,236
営業利益	548	320	539	316	1,725	743	425	619	222	2,010	896	738	1,020	332	2,988	1,039	864
経常利益	539	324	553	297	1,715	758	396	631	201	1,987	938	742	1,023	431	3,136	1,060	869
四半期(当期)純利益	270	245	317	83	917	375	△ 350	551	21	598	547	418	545	254	1,766	572	366

	05/3期					06/3期					07/3期					08/3期	
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q
売上高	4,924	4,828	5,010	5,014	19,778	4,896	4,915	5,023	5,117	19,952	5,049	5,227	5,527	5,434	21,238	5,644	5,700
自動車関連情報	4,520	4,464	4,693	4,718	18,397	4,666	4,710	4,808	4,885	19,070	4,821	4,985	5,220	5,110	20,138	5,326	5,366
情報登録・掲載料	3,796	3,763	3,984	4,040	15,584	3,949	4,046	4,106	4,193	16,296	4,110	4,324	4,514	4,409	17,359	4,508	4,600
情報提供料	724	700	709	678	2,812	716	664	702	691	2,774	711	661	705	700	2,778	817	766
生活関連情報	319	285	224	223	1,053	145	128	149	157	580	133	136	196	209	675	203	222
不動産	47	46	56	27	177	45	45	40	42	174	39	40	40	40	160	44	43
その他	37	32	35	45	150	39	31	25	31	127	54	64	69	74	263	70	68
営業利益	548	320	539	316	1,725	743	425	619	222	2,010	896	738	1,020	332	2,988	1,039	864
自動車関連情報	1,108	780	1,162	929	3,980	1,243	920	1,101	862	4,127	1,415	1,288	1,559	772	5,036	1,482	1,343
生活関連情報	△ 139	△ 123	△ 181	△ 106	△ 550	△ 46	△ 34	△ 18	△ 56	△ 155	△ 28	△ 7	△ 33	△ 19	△ 89	△ 16	△ 3
不動産	14	11	11	15	52	13	13	17	14	58	14	15	15	13	58	20	17
その他	△ 11	△ 16	△ 62	△ 100	△ 191	△ 50	△ 58	△ 61	△ 98	△ 269	△ 119	△ 75	△ 69	△ 64	△ 329	△ 49	△ 45
管理部門	△ 422	△ 331	△ 389	△ 421	△ 1,565	△ 416	△ 415	△ 418	△ 499	△ 1,749	△ 385	△ 481	△ 451	△ 388	△ 1,687	△ 397	△ 446

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2006年9月期		2007年3月期		2007年9月期		増減 (B)-(A)
		構成比	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	10,132	58.9%	10,858	60.6%	12,129	64.0%	1,271
固定資産	7,072	41.1%	7,065	39.4%	6,830	36.0%	△ 235
流動負債	5,960	34.6%	6,058	33.8%	6,339	33.4%	281
固定負債	583	3.4%	560	3.1%	559	3.0%	△ 1
純資産	10,661	62.0%	11,305	63.1%	12,060	63.6%	755
総資産	17,204	-	17,924	-	18,960	-	1,035

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 流動資産の増加（2007年3月期末対比 1,271百万円増）

主な増加要因は、現金及び預金の増加（1,131百万円増）によるものであります。
現金及び預金が増加した主な要因は、①事業利益、②従業員への賞与支給が当期間中には発生していないことなどによるものであります。

■ 固定資産の減少（2007年3月期末対比 235百万円減）

主な減少要因は、有形固定資産の減少（80百万円減）、のれんの減少（58百万円減）によるものであります。

■ 流動負債の増加（2007年3月期末対比 281百万円増）

主な増加要因は、未払費用の増加（390百万円増）、前受金の増加（154百万円増）によるものであります。
未払費用が増加した主な要因は、従業員への賞与支給が当期間中には発生していないことなどによるものであります。

■ 純資産の増加（2007年3月期末対比 755百万円増）

主な増加要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

中間連結キャッシュ・フロー及び設備投資等の状況

(単位：百万円)

	2007年3月期(中間)	2008年3月期(中間)	(参考)2007年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,153	1,322	2,158
投資活動によるキャッシュ・フロー	355	△ 40	269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 167	△ 174	△ 300
現金及び現金同等物の期末残高	6,745	8,703	7,569

※ 詳細は中間決算短信 19～20頁を参照ください。

設備投資額	58	37	136
減価償却費	84	79	178

※ 有形固定資産に係る設備投資額ならびに減価償却費を記載しております。

※ 金額は百万円以下を切り捨てて表示しております。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が増加するものの、税金等調整前中間純利益が増加したことなどにより、1,322百万円(前年同期対比 14.6%増)となりました。

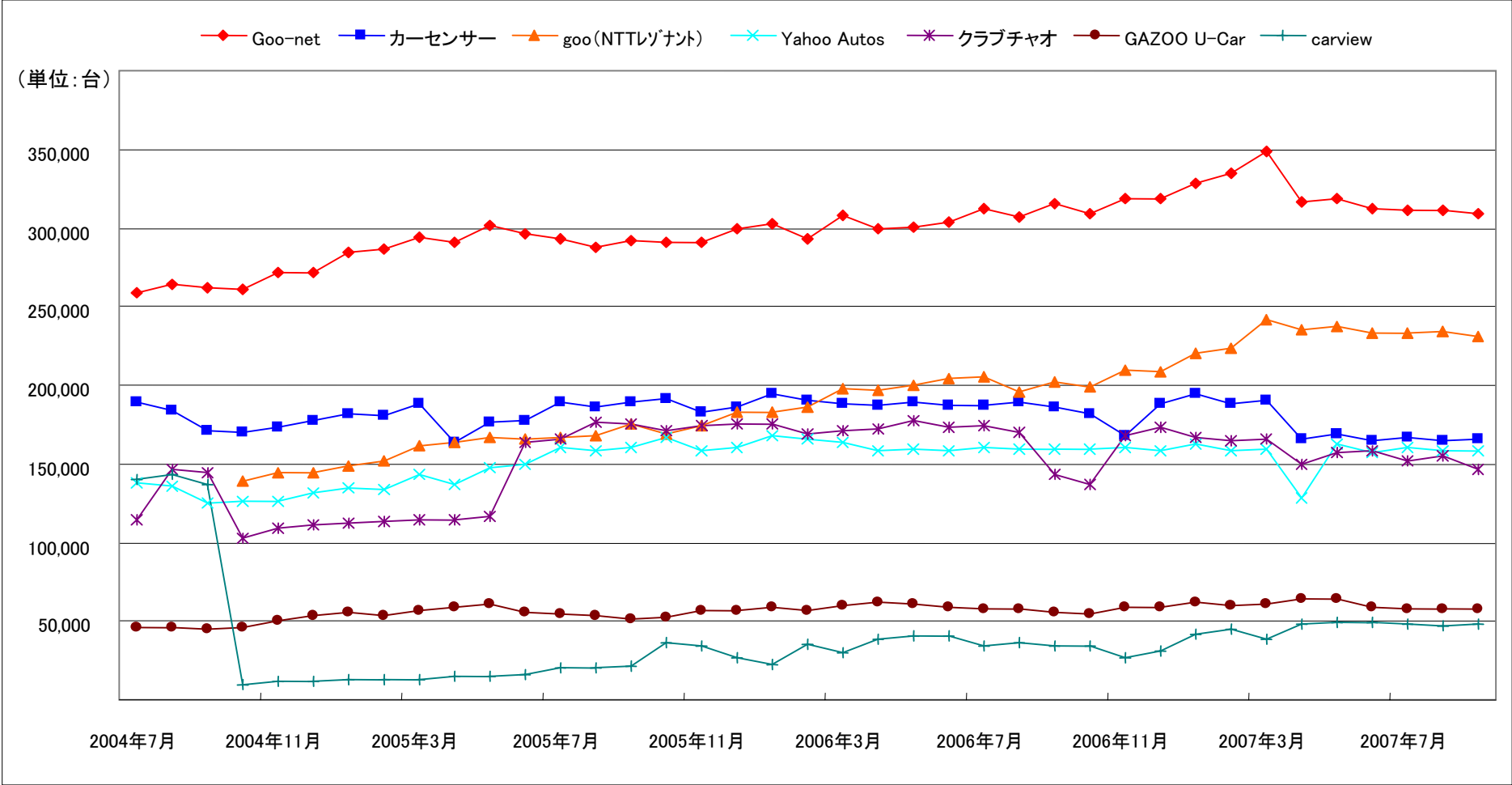
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

少数株主への子会社株式の売却による収入が発生するものの、投資有価証券の取得による支出ならびに有形固定資産の取得による支出が発生したことなどにより、△40百万円となりました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いなどにより、△174百万円となりました。

【主要サイトの中古車掲載台数の推移】



(当社調べ)

■お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション

名古屋市中区葵一丁目23番14号

TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750

<http://www.proto-g.co.jp>

4298ir@proto-g.co.jp

IR担当 / 経営企画室 鈴木